

FY2025 Activities Report

倶知安町地域おこし協力隊
活動報告書

2026年3月24日

観光商工課
(一社)ニセコプロモーションボード配属
藤原花音

目次

1. 活動概要
2. 活動内容
3. 研修への参加
4. 日々の活動、研修を通じて得られた学び
5. 自分に期待される役割
6. 今後の意気込み

1. 活動概要

1.1 ミッション

観光マーケティングおよびマネジメント業務を通じて、倶知安町、ニセコ町、蘭越町を含むニセコエリアの通年観光の推進に取り組む。これにより、地域全体の収益向上、雇用創出、投資促進を図り、ニセコエリアの持続的で安定した経済基盤の確立を目指す。

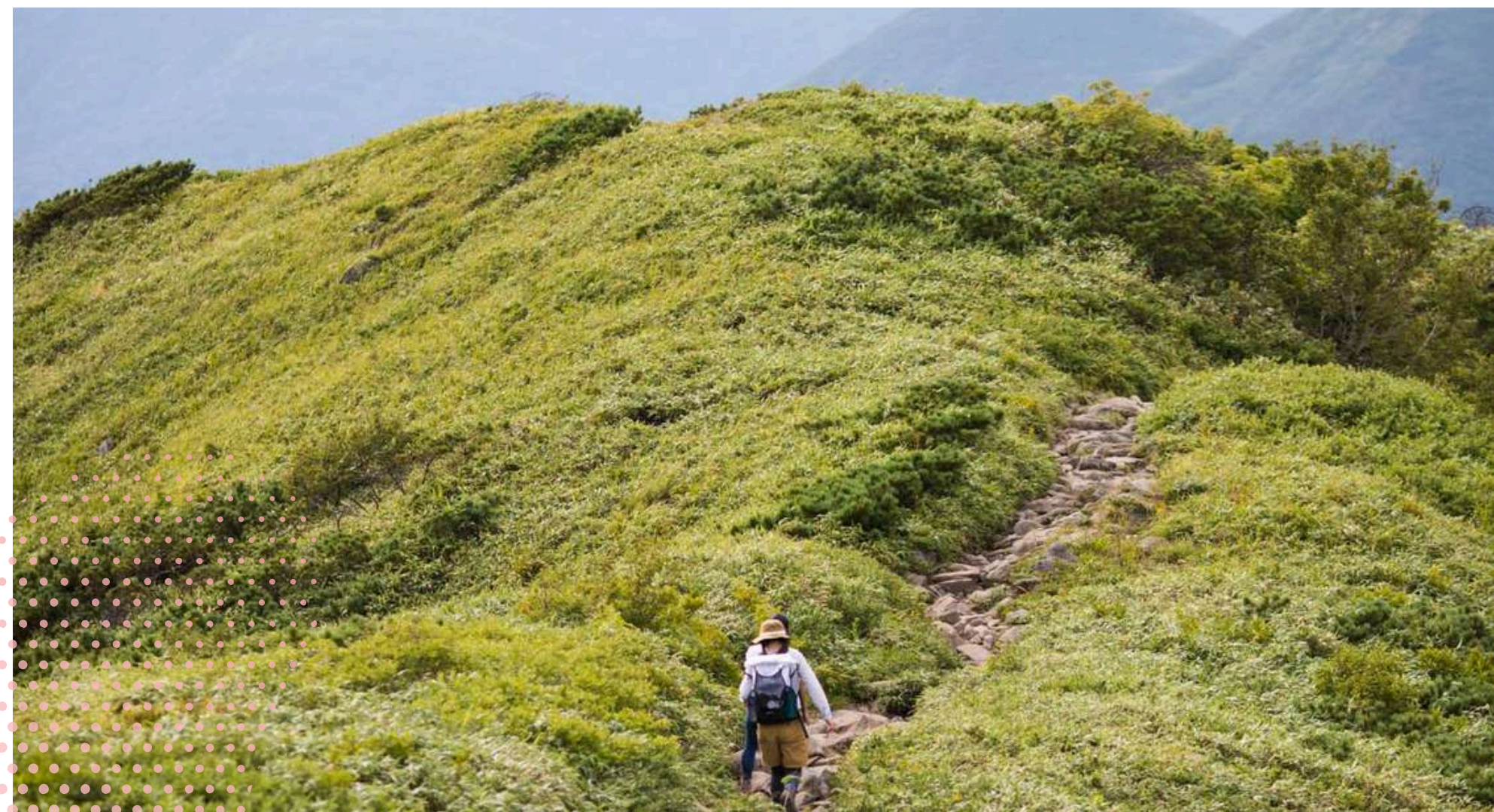
1.2 配属先・担当業務

一般社団法人ニセコプロモーションボード
- DMOコーディネーター

業務：ニセコエリアの観光マーケティング、マネジメント、会員リレーション

1.2 活動期間

2024年10月～現在



2. 活動内容

2.1 配属先組織について

一般社団法人ニセコプロモーションボード（NPB）は、2007年に発足した倶知安町、ニセコ町、蘭越町にまたがる「ニセコエリア」の観光地域づくり団体（DMO）です。

観光や地域経済に関するデータ収集・分析、その結果を地域内事業者と共有するなどのマーケティング活動を軸に、戦略的なキャンペーンやネットワーク構築、広報活動をおこなって、企業と行政との橋渡しとなるべく活動しています。

理事会は、16名の理事と、スキー場事業者などからの5名の幹事、合計21名によって構成されています。

ニセコエリア内で350社以上が会員事業者として入会しています。

2.2 日々の業務について

- 会員事業者との調整業務（会員リレーション）
- 各お問い合わせ対応
- 観光データ、関連情報収集
- 各種プロモーション活動の補助
- ニュースレターの定期制作、配信
- ウェブサイト等運用管理
- 理事によって構成される専門部会の会議調整
- 議事録制作
- 関係機関のイベントアシスト
- ニセコ観光圏観光地域づくりマネージャーによる定例会議等での調整、議事録制作
- 各プロジェクトの進行
- 会員ネットワーキングイベントの開催
- 協力隊でのイベント出展

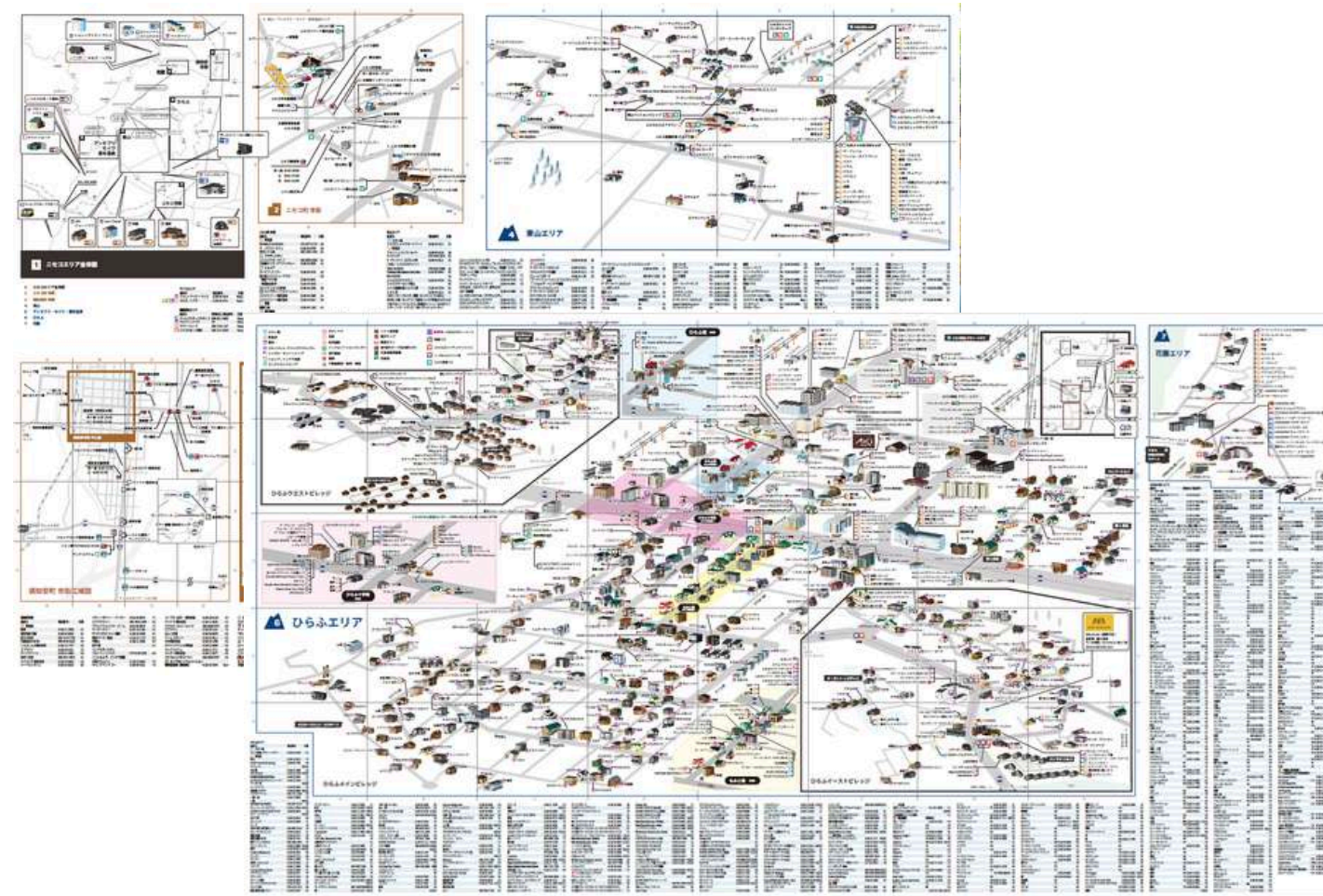
2. 活動内容

2.3 発行物の制作

ニセコプロモーションボードから発行している
ニセコエリアガイド「Wine & Dine」、「ニセコリゾートマップ」の制作を担当
しました



ニセコエリアガイド Wine & Dine
38000部 発行

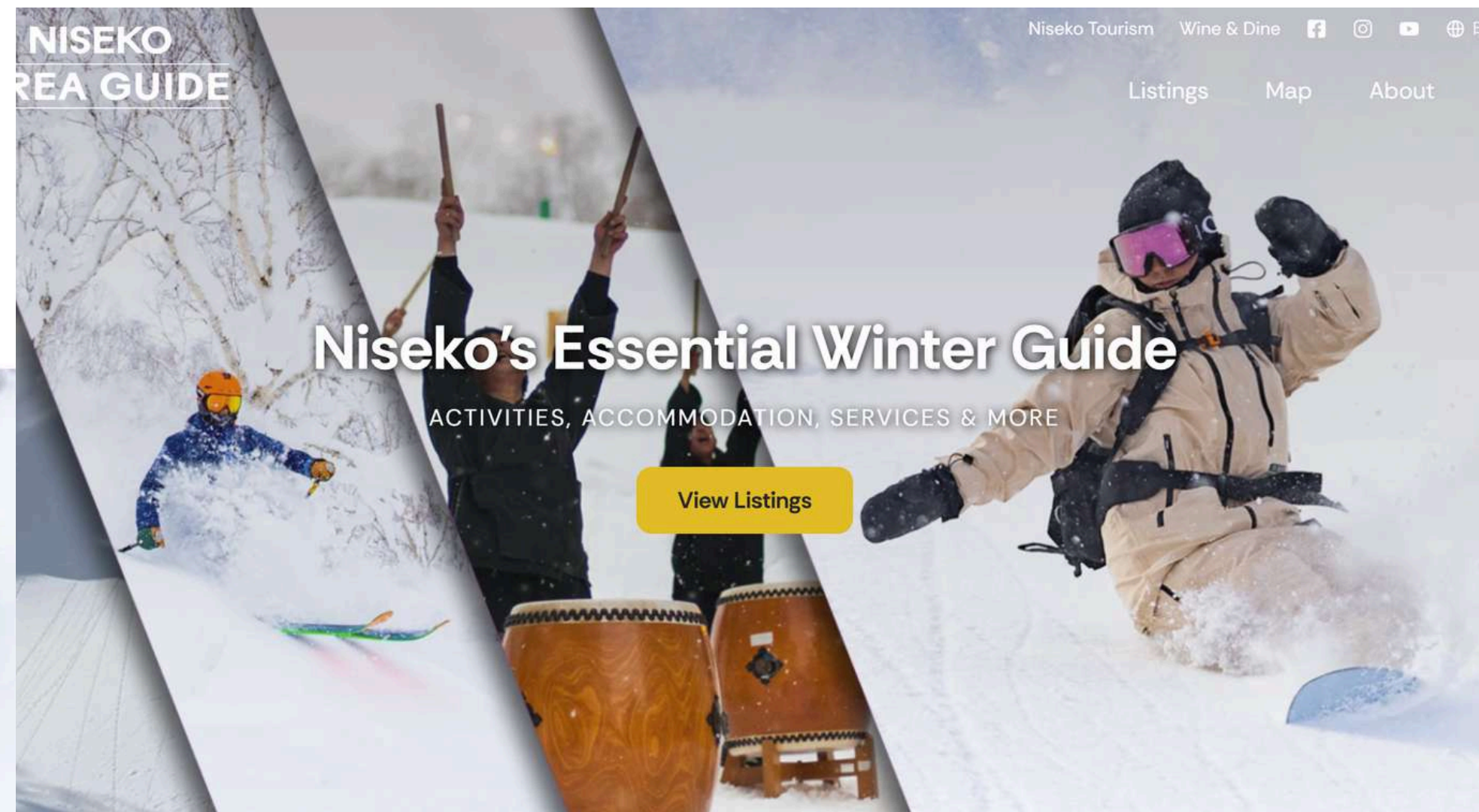
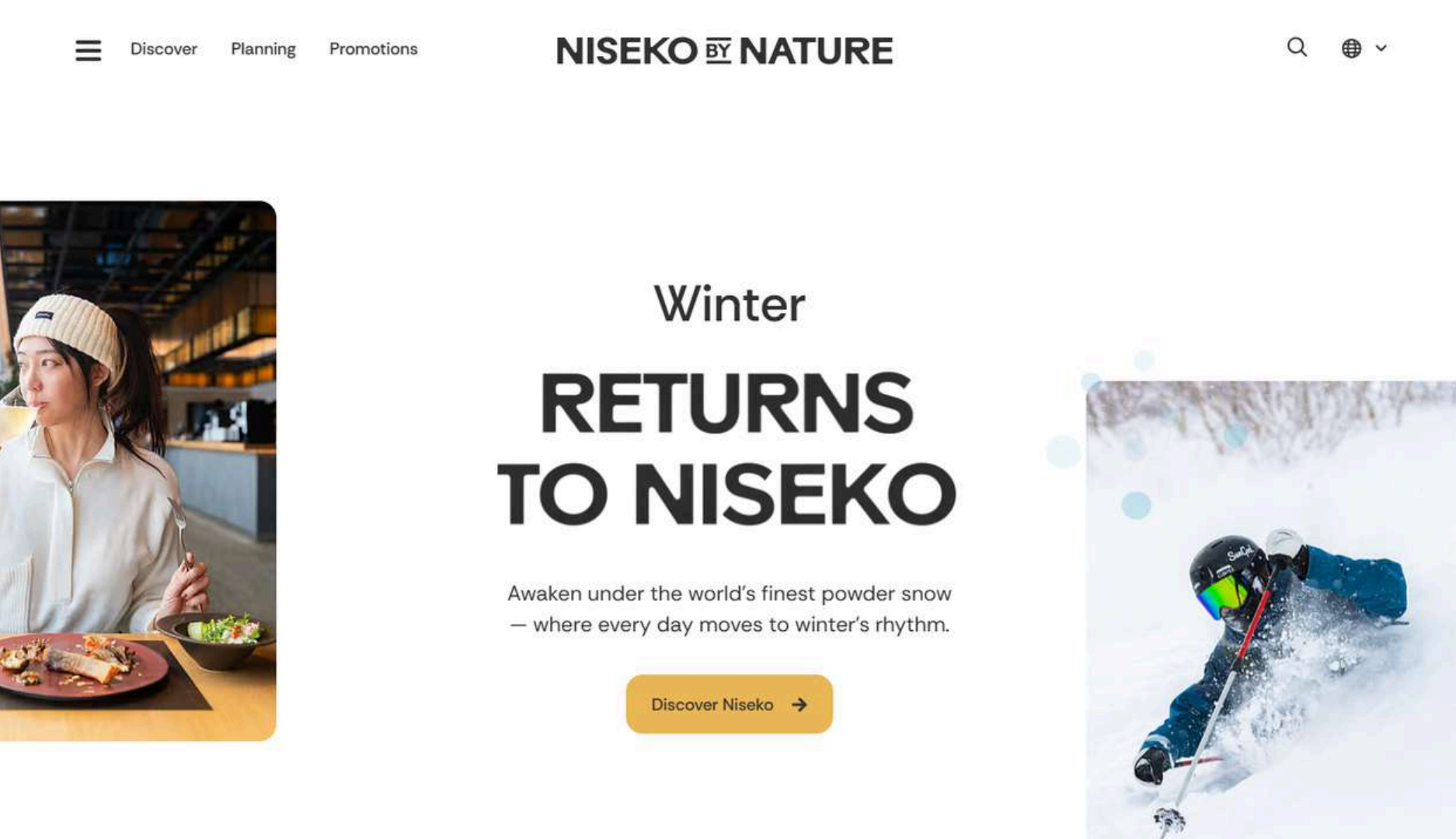
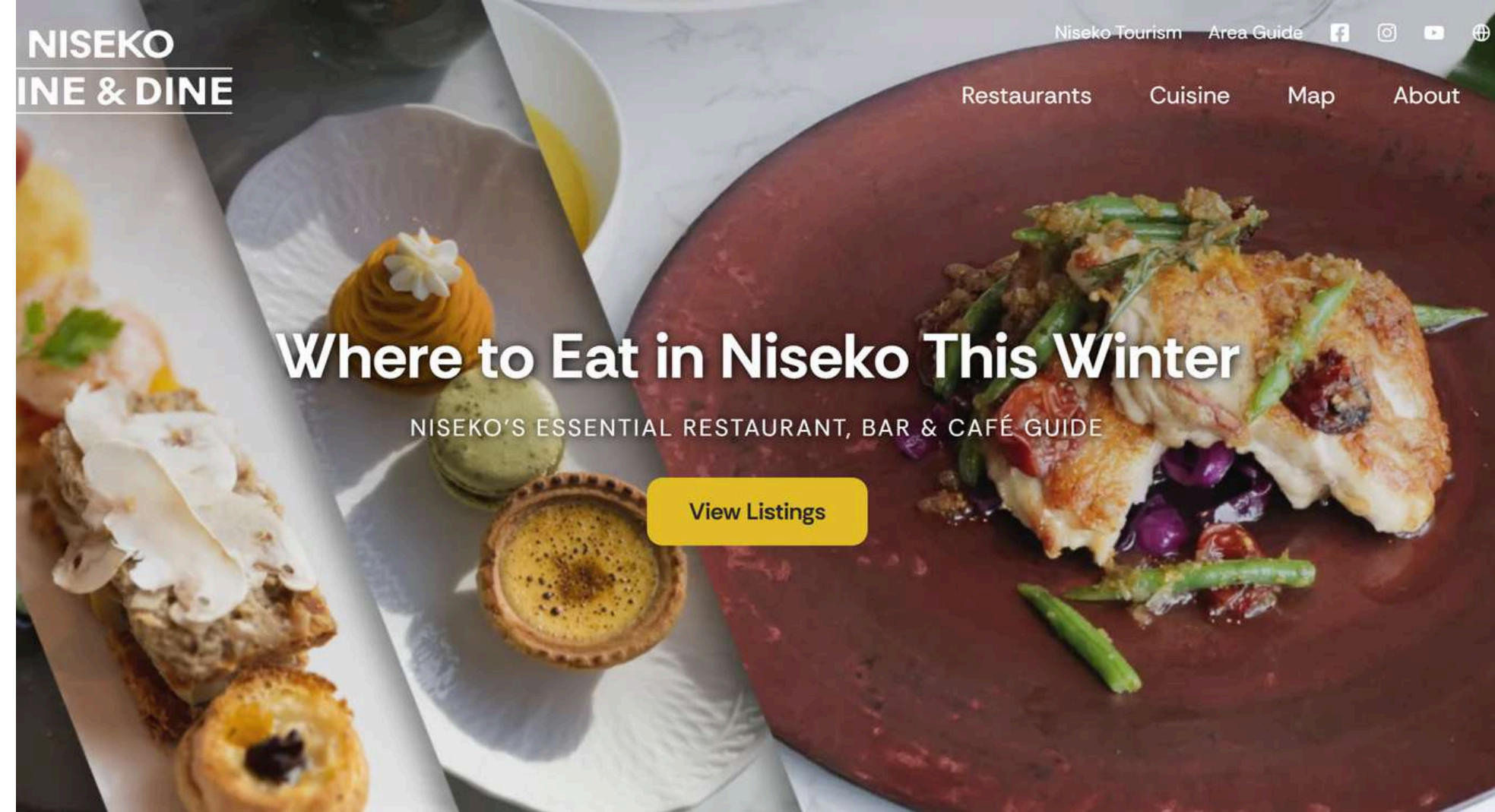


ニセコリゾートマップ
日本語：38000部 発行
英語：67000部 発行



2.4 ウェブサイト管理運用

デジタル版の「Wine & Dine」「ニセコエリアガイド」及び、NPB公式ウェブサイトの管理運営を担当しました

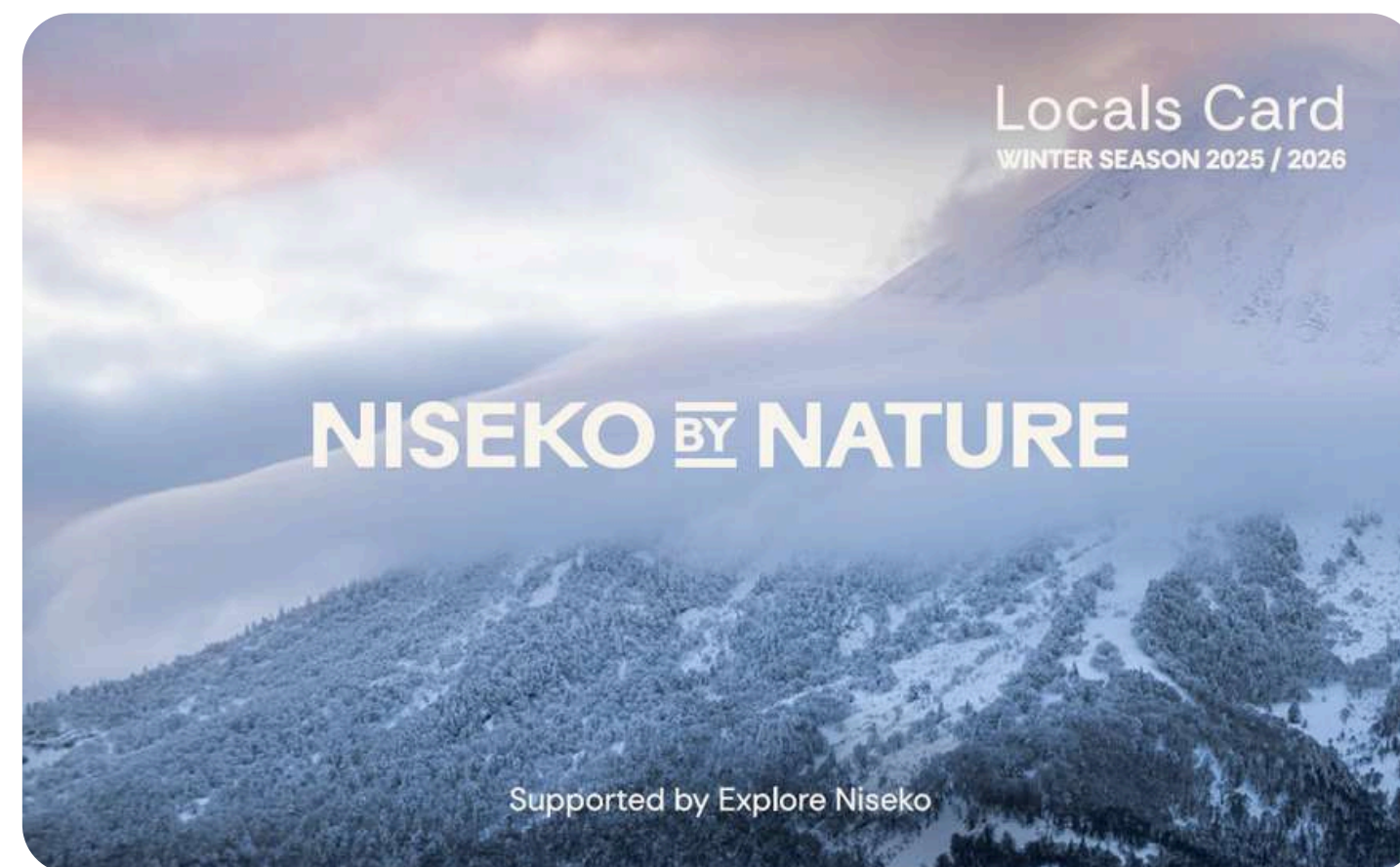


2.4 その他プロジェクト管理運用

ニセコプロモーションボードから発行している公式観光ガイドアプリ「NISEKO」
エクスプロアニセコとの共同事業である「ニセコローカルカード」の管理運用を担当しました。



公式無料アプリ
NISEKO



ニセコローカルカード

(会員従業員向け割引カードプログラム)
10月中旬配布開始～**8000枚**以上を配布
エリア内30店舗以上の割引プログラムを取得

2.5 ニセコ観光圏協議会との事業活動

ニセコ観光圏協議会の支援のもと、
NPBがプラットフォームとして公益事業を展開しました

地域事業者への研修

生成AIセミナー研修運営補助

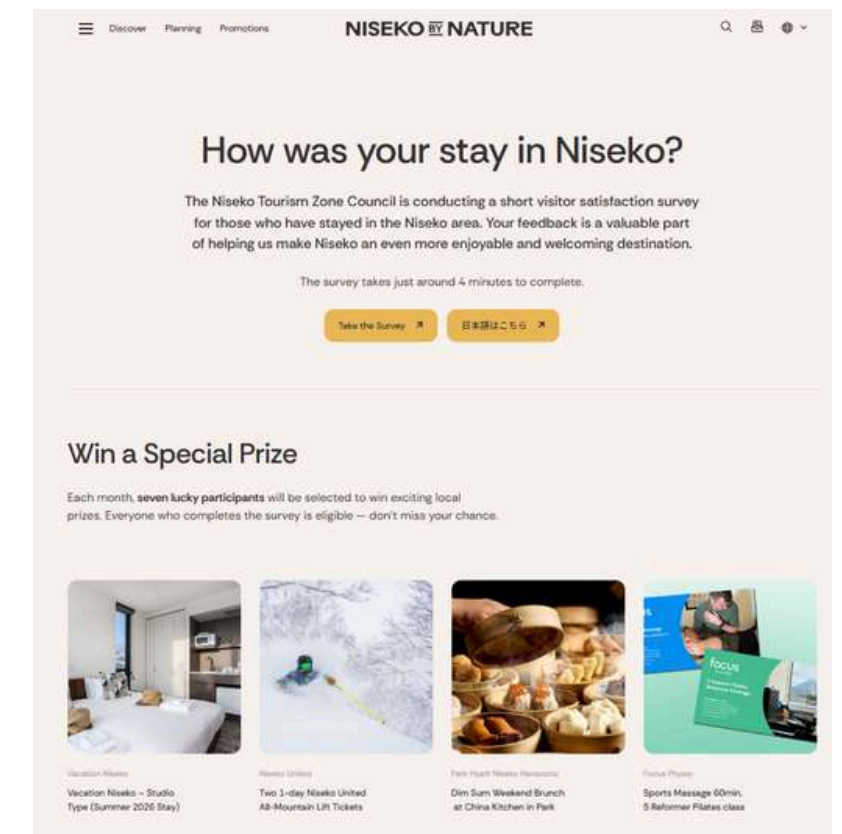


満足度・認知度調査

PDCAや現状分析のためのマーケットデータ収集

回答促進ノベルティ

アンケートページ



ツーリズムEXPO @愛知

ニセコの夏の認知度向上を目指したプロモーションブース出展



3. 研修への参加

3.1 観光庁主催 観光地域づくりマネージャー育成短期集中セミナーへの参加



観光庁が主催するオンライン1日、対面3日間の研修で、座学と実務ワークを通じて、地域課題に対する自分の役割を明確にし、解決策を導く実践力を養いました。

3.1 アドベンチャーツーリズム視察研修会への参加

しまなみ海道を拠点に、サイクリングを通じたアドベンチャーツーリズムの先進事例を現地で体験・視察しました。

サイクリングを軸に、地域資源（景観・文化・産業・農業）を組み合わせた体験設計と、ガイド・受入体制を含めた価値向上および周遊による滞在延長の仕組みを学びました。



4. 日々の活動、研修を通じて得られた学び

ニセコ観光圏（倶知安、ニセコ、蘭越全域）の観光地域づくりの課題



①：季節繁閑差そのものではなく、他の季節の価値を観光の文脈で語る必要性が、地域事業者間で共有されていないこと



ニセコ観光圏
● NISEKO TOURISM ZONE

②：行政・DMO比率が高く、突き抜けたプレイヤー（事業者）が前に出ていないこと
その結果として、ニセコ観光圏自体の認知度が低いこと

5. 自分に期待される役割

自分が持っている資産の再定義

- ① 1年半のDMO実務（コーディネーター業務）で培った繋がり。各町・各リゾート・各事業者の
 - 背景
 - 資本
 - 歴史
 - 制約

を立体的に理解していること。

②観光客・事業者・行政・マスコミ

多様なジャンルのとの問い合わせに触れてきた現場感覚



メンバー間の調整や、共有をスムーズに、的確に行い、ニセコエリアのプレイヤーに観光圏のことを理解してもらい、観光圏を活発にする

6. 今後の意気込み

観光を「来てもらうための仕組み」ではなく、
「地域に関わり続けたいくなるための道具」へと意識を変えていきます。

観光地域づくりは、地道な積み重ね。
私は前に立つリーダーが輝ける導線づくりに尽力します。